

豊岡市基本構想における記載イメージ

項目	記載内容	意見等
1 まちづくりにのぞむ基本姿勢		
(1) 自然に抱かれて生きる	私たちは、自然界の一員として、豊かな山や川、田畑の恵みを受け、自然と折り合いながら暮らしを育んできました。 豊岡の豊かな地域資源や歴史・文化と融合させた、自然に抱かれた豊岡の新しい暮らし方を進め、人々が心豊かに楽しく、地域への愛着をもって生きていくまちづくりを進めます。	【審議会】 ・残したい自然と文化 ・自然条件を生かしたまち ・豊岡らしい風景 ・自然と調和しているまち 【市民アンケート】 ・自然が豊か
(2) 多様性を受け入れる	私たちは、世界が多様性に満ちていることを理解し、お互いを認め合いながら、すべての人に居場所と出番のあるまちづくりを進めます。	【審議会】 ・幸せの価値観を変えるための教育・生活 ・外国籍の親子への進学情報や学習支援 ・親の経済力に関係なく受けられる教育 ・格差のないまち ・芸術などの能力にたけた障害者活用 ・多文化共生によるまちの活性化 ・女性が活躍しやすい社会が大切
(3) 未来への責任を果たす	私たちの暮らしがあるのは、過去から引き継がれた先人の営みによるものです。 この営みに感謝し、私たちもまた受け継いだものを守り、育て、未来に引き継いでいきます。	
(4) かけがえのない今を大切に、他者を尊重し、挑戦ができるまち	私たちは、限られた命を大切に、かけがえのない今を精一杯に生きています。 生涯の暮らしの中で、様々なことに挑戦するとともに、社会へも貢献できる人を育てていきます。	
2 めざすまちの将来像		
「 ※未来への責任を果たすために、今、豊岡がやりとげなければならないことを表したもの。 ※右の記述を総称したイメージ	・自然と共生するライフスタイルが根付いている ・地域固有を突き詰めることが世界で輝く ・多様性を受け入れる暮らしに世界から尊敬される ・経済的な豊かさに関係なく芸術文化に参加できる	【市民アンケート】 ・安心・安全、自然が豊か、暮らしを楽しむ、快適／便利、人を育む／担い手が育つ、支え合い／助け合い
3 まちの将来像を実現するための重要なテーマ		
(1) 大規模災害からいのちを守る	平成 23 年の東日本大震災、平成 28 年の熊本地震など、近年、大規模地震が相次いでおり、加えて、近い将来、南海トラフ地震や首都直下地震などの巨大地震の発生が予想されています。 また、深刻な被害をもたらす集中豪雨や土砂災害が増加傾向にあるなど、私たちのまちが世界でも稀に見る災害列島におかれていることを認識し、自然災害に対する危機意識を高めなければなりません。 私たちは、大正 14 年の北但大震災、平成 16 年台風 23 号で市民の命やおだやかな暮らしを失いました。この体験から、自助、共助、公助それぞれに限界があるなかで、災害に対するまち全体の災害対応能力を一層向上し、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を高め、災害対策に取り組んでいきます。	【審議会】 ・安心して命を守る生活ができる ・災害時に備えた消防団員の確保 ・地域の防災力を高める ・外国籍消防団員による観光地防災力向上 ・元気な高齢者を活かした防災教育
(2) 健康に生涯を暮らす	これまでの健康施策は、主に健康に関心のある一部の市民が参加する取組みに留まっていました。 今後は、健康状態の改善を要する市民への対応はもちろんのこと、健康な市民に対しても、健康寿命を延ばすための正しい知識を広め、それを基にその人にあった健康づくりの取組みを支援する効果的な仕組み、仕掛けを社会全体で構築することが課題です。 今後、市民の健康に対する意識を高めるための施策や意識をしなくても自然に健康行動につながるような仕掛けづくりを進め、「健康まちづくり」に取り組んでいきます。	【審議会】 ・安心して命を守る生活ができる（再） ・介護を受けずに生涯を健康に暮らす
(3) 人口減少対策に挑む	これまでの人口減少対策は、過疎対策としての定住対策等、人口が減っていくことを前提にした上で、どのように対応していくかという、人口減少社会への適応策を進めてきました。 しかし、私たちは、今後予測される圧倒的な人口減の破壊力に直視し、次の世代のために、今、やるべきことを選択して人口減少を緩やかにしていくことに全力で取り組んでいかなければなりません。 まちの現状をみると、十代の進学期にまちを離れる人の割合に対して、二十代で豊岡へ定住する人の割合が低いという、未婚率が高くなるということが、子どもの数を減少させています。この減少要因である、定住する若者を増やすこと、結婚する若者を増やすことに取り組んでいきます。	【審議会】 ・空き家提供・活用の仕組みづくりと支援策 ・ふるさとを知ることが定住につながる（再） ・色々な可能性が楽しめるまちづくり ・若い人が住みたい特色を全国にアピール ・先進技術による買い物などのへき地対策 ・空き店舗を活用した移住対策 ・資源をうまく市場に乗せる工夫 ・大学を卒業しても、戻れる場所がない ・親に対する豊岡の会社紹介 ・芸術を通じた人生の選択肢提供 【政策判断が必要な事項】 ・若者定着のための手段としての短大、大学の設置

<p>(4) 環境都市「豊岡エコバレー」を実現する (コウノトリも住める豊かな環境をつくる)</p>	<p>大型の完全肉食の鳥、コウノトリが豊岡で暮らすことができるのは、私たちのまちに膨大な量の、そしてたくさんの生き物が存在しているためです。そのような豊かな自然は、人間にとっても素晴らしい自然であるに違いありません。</p> <p>そのうえで豊岡が新たな扉を開いたのは、環境と経済の共鳴です。環境と経済は相いれないと固く信じられていました。しかし、環境を良くすることで経済が活性化します。そのことが誘因となって、環境を良くする行動がさらに広がる。豊岡では、環境と経済が共鳴する活動を広げるため、市民のライフスタイルの中で、環境を良くする行動が持続していくよう進めていきます。</p>	<p>【審議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残したい自然と文化（再） ・自然条件を生かしたまち（再） ・豊岡らしい風景（再） ・自然と調和しているまち（再） <p>【高校生WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境を生かした生活 ・コウノトリ事業の推進 ・自然とのふれあいで学ぶ
<p>(5) 大交流を実現する</p>	<p>豊岡として進めなければならないのは、単なる観光ではなく、人が訪れることで交流を起こし、その交流の中から豊岡ファンを広げていくことです。</p> <p>そのためには、魅力的な地域をつくり、人々を惹きつけることが大切であり、その魅力となるのは、地域固有の資源であり、これまで培われてきた歴史、伝統、文化の中にあります。グローバル化の進展によって世界中が急速に同じ顔になり、文化的魅力を失いつつある今、豊岡が世界で輝いていくよう大交流に取り組んでいきます。</p>	<p>【審議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界とつながる ・海外に認めてもらえるような都市 ・世界に目を向けた観光戦略 ・観光が経済を回し、文化度を高める ・観光協会の高齢化を受け新たな仕組み ・観光アクティビティと宿との連携 ・市内の観光連携 ・観光を含めた産業活性化と定住促進 <p>【高校生WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな食資源や観光資源の活用 ・観光業の促進 ・若者が興味を持つ観光業 ・情報発信 ・インバウンド観光 <p>【政策判断が必要な事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有名ブランド誘致と靴テーマパーク化
<p>(6) 地域経済の内発的発展を進める (地元の企業が活躍できる環境を整える)</p>	<p>近年、エコノミックガーデニングという地域経済を「庭」、地元の中小企業を「植物」に見立て、地域という土壌を生かして地元の中小企業を大切に育てることにより地域経済を活性化させる取り組みが注目を集めています。</p> <p>従来の誘致型の産業は、いつまちから離れてしまうか分かりません。地域の資源を活かして、地域内の企業同士が連携し、地域経済の担い手となるような仕組みづくりを進めていきます。</p>	<p>【審議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域間格差のない豊岡 ・みんながある程度稼げる仕組み ・語学力を活かした就業支援 ・靴、宿泊業以外にも全体的な発展 ・豊岡市での特例・特区の必要性 ・地域通貨の域内循環 ・通年雇用の組合せと募集キャッチコピー ・女性と高齢者の活用による労働力確保 <p>【市民アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用対策の推進
<p>(7) 子どもたちの夢を支える</p>	<p>豊岡で暮らす子どもたちは、豊かな自然の中で、地域資源を活かしてふるさとを愛する教育や体験が行われています。</p> <p>私たちは、学校・家庭・地域が一体となって「子育てが楽しいまち・子どもが元気に育つまちづくり」をめざし、ふるさと豊岡を愛し、夢の実現に向けて挑戦する子どもを育てるとともに、子どもたちの学びを支える仕組みを確立していきます。</p>	<p>【審議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとを大切に思う心を育む ・まちづくりに子どもを参加 ・生きる力を学ぶ教育 ・先進的で圧倒的な教育環境の向上 ・語学力を高める ・ふるさと・英語教育による世界に通じる人材育成 ・ふるさとを知ることが定住につながる ・元気な高齢者が子どもを預かる仕組み ・豊岡の独特な良さを見つけることが大切 <p>【高校生WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊岡市全体に関連した学習（郷土愛の醸成） ・昔の文化を学ぶ <p>【市民アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て環境の充実
<p>4 まちの将来像を実現するための進め方</p>		
<p>(1) 新しい協働</p>	<p>市民も行政もこのまちの対等な構成員です。</p> <p>これまでのサービスの受け手と与える側との関係ではなく、地域における全ての主体が対等に関係しあいながら、能動的に活動、地域に参画することにより、地域における新たな価値を創造することをめざします。</p>	<p>【審議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供などにより民間の人をどうつなぐか ・市全体で商工業の方向性を議論する場 ・地域を支える女性と高齢者 ・市役所内、市民と市役所のつながり
<p>(2) 戦略的に進める</p>	<p>基本構想の実施にあたっては、戦略的政策評価による目指す姿を明確にしたうえで、目的達成に強い因果関係を持つ政策や手段を選択して進めていくものとします。</p>	
<p>5 市民の暮らしを支える施策</p>		
<p>(1) 安全に安心して暮らせるまち (2) 人と自然が共生するまち (3) 持続可能な「力」を高めるまち (4) 未来を拓く人を育むまち (5) 人生を楽しみお互いを支え合うまち</p>	<p>※基本施策は体系図一覧で示す。 ※具体的な方針は記述しない(個別計画や予算で)。</p>	<p>【審議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心、地域を見守る、安心して暮らせる ・つながり、支えあい、助け合い <p>【高校生WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が暮らしやすいまち、医療の充実 <p>【市民アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して暮らせる地域社会の構築 ・介護保険制度の充実 ・社会保障の適正実施